

令和5年度 「皆さまから寄せられた提言・提案などへの回答要旨」		1_健康・福祉・医療
No.	件名・内容	回答
1	<p>こども医療・児童手当について</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 近隣市町村では、高校生までこども医療費を適用しているところがあるので、上尾市も同様に高校生まで適用してほしいです。</p> <p>(2) 児童手当は児童のための手当なのに、親の所得によって減額や不支給となることに納得できません。</p> <p>【受付 No.】 5-2002 【受付日】 令和5年4月11日</p>	<p>(1) こども医療費の適用範囲の拡大は、医療費適正化や公費負担の公平性の観点などを踏まえ、慎重な検証が必要であると考えております。</p> <p>このことから、高校生世代の医療費の無償化は、通院医療費については実施に至っておりませんが、入院医療費は令和4年10月診療分から無償化しております。</p> <p>ご要望につきましては、引き続き、研究してまいります。</p> <p>(2) 児童手当は国の制度であり、全国どこの市町村でも一律の対応となっています。</p> <p>この児童手当については、先日、政府から発表された「異次元の少子化対策」のたたき台の中に、所得制限の撤廃や支給期間の延長、多子世帯への増額検討が盛り込まれました。具体策については、6月の経済財政運営の基本方針「骨太の方針」で示されると報道されておりますので、国から正式な通知が発出され次第、示された内容に沿って事務を進めてまいります。</p> <p>(担当) 子ども支援課 (電話) 775-5120</p>
2	<p>つくし学園のバスについて</p> <p>【内容】</p> <p>通園バスに GPS などの現在地を確認できるシステムを付けていただきたいです。</p> <p>バスが遅れるのは仕方ないと思いますが、障害児を連れて待っているのは危険もありますし、親子ともストレスになります。</p> <p>兄弟がいたり、雨の日などはさらに大変になります。</p> <p>いろいろな障害をもった子どもたちなので、できれば負担を少なくしてあげたいと思っています。</p> <p>どうぞ、ご検討ください。</p> <p>【受付 No.】 5-2005 【受付日】 令和5年4月11日</p>	<p>当園では、保護者様への速やかな連絡を図ることを目的に、ICT システムの導入を予定しております。その中で、お子様と送迎される保護者様の安全も考慮したバス運行に関する連絡方法につきまして、引き続き検討してまいります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>(担当) つくし学園 (電話) 725-6830</p>

令和5年度 「皆さまから寄せられた提言・提案などへの回答要旨」		1_健康・福祉・医療
No.	件名・内容	回答
3	<p>2023年1月号広報あげお「市長新春座談会」を読んで</p> <p>【内容】 上尾市の英語教育についての特集記事を拝見して、感銘を受けました。外国語指導助手を小中学校全校に配置し、授業だけでなく休み時間など普段の生活でも英会話ができるようにすることで、コミュニケーションを最大限に重視して取り組んでいるとのことですので、上尾市内の保育所に外国語指導助手（ALT）制度を拡大し、子どもたちが外国文化や英語に触れる機会を創出してほしいです。</p> <p>【受付 No.】 5-2006 【受付日】 令和5年4月27日</p>	<p>上尾市では、英語教育を積極的に実施しており、ALTを全小中学校に配置するとともに、小学校1年生から英語に触れるカリキュラムを編成するなど、小学校、中学校9年間を通した英語教育に取り組んでいます。また、その一環で、一定のご負担をいただくこととなりますが、中学校3年生を対象としたオーストラリアへの上尾市中学生海外派遣事業も実施しています。</p> <p>さて、上尾市の公立保育所では、心と体を育てる保育を中心に行っており、生涯にわたる人間形成の基礎を培う乳幼児期に、人として生きる力を生活の中から学べるよう保育を行っているところです。</p> <p>ご提案いただきました保育所におけるALT制度の拡大は、保育に教育という新たな要素を加えるということになります。小さなうちから英語の音に慣れるという長所（メリット）も考えられますことから、検討課題として捉え研究してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、上尾市では外国文化や英語に触れる機会として「あげおワールドフェア」などの英語に興味を持てるようなイベントを開催しており、今年は10月8日に開催を予定していますので、ぜひ、ご参加いただければと存じます。</p> <p>(担当) 保育課 (電話) 775-5044</p>
4	<p>流産や中絶などをした人に対するサポートについて</p> <p>【内容】 流産や中絶など、身近な人には話しづらく抱え込みになりがちな相談ができる相談窓口やサポートについて情報提供してください。</p> <p>【受付 No.】 5-2010 【受付日】 令和5年7月11日</p>	<p>上尾市におけるサポート、相談窓口としまして、東・西保健センター保健師、精神保健福祉士による電話や面接相談、心理士によるこころの悩み相談、いのちのオンライン相談窓口として Web 相談や LINE 相談を行っており、今回のご相談につきましても、いずれかの窓口で対応させていただきます。</p> <p>(担当) 健康増進課 (電話) 774-1414</p>

令和5年度 「皆さまから寄せられた提言・提案などへの回答要旨」		1_健康・福祉・医療
No.	件名・内容	回答
5	<p>子ども支援、ファミリーサポート利用について</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 利用実績だけでなく、利用希望の件数や援助を受けられなかった件数を把握して対策を講じていただきたい。</p> <p>(2) 登録会員を増やすためにどのような活動を行っているか。また、会員登録の方法が社会福祉協議会での窓口申請のみだが、オンラインや市のイベント、公民館の講座等で登録可能にしていきたい。</p> <p>(3) 幅広い年代でスマートフォンが利用されているなか、依頼にマッチングする提供会員を電話で探すのは時代にそぐわない。登録会員のマッチングシステムの導入を検討いただきたい。</p> <p>【受付No.】 5-2011 【受付日】 令和5年7月18日</p>	<p>(1) 利用状況の把握については、ご指摘のとおり、今後は上尾市社会福祉協議会からの報告項目に依頼総数や援助に至らなかった件数、最大待ち人数等を加え、より詳細な実態の把握ができるよう改善します。また、ファミリー・サポート・センター事業は、相互援助活動でありますことから、ボランティアである提供会員が増えるよう、社会福祉協議会と協力して提供会員の募集に努めてまいります。</p> <p>(2) 依頼会員、提供会員を募集するため、広報あげおや社協だよりへの掲載、ファミサポだよりの関係機関や公共施設への設置を行っております。両会員の登録方法については、本人確認の必要性や希望内容の詳しい聞き取りのほか、依頼会員については、把握した悩みに応じた他の支援の案内なども重要視しているため、窓口での申請をお願いしております。</p> <p>(3) 依頼会員と提供会員のマッチングについては、アドバイザーが依頼内容を詳しく聞き取り、より内容に適した提供会員に電話及びメールで打診しております。システムの導入を含め、より効率的な運用方法を研究してまいります。</p> <p>(担当) 子ども支援課 (電話) 783-4962</p>

令和5年度 「皆さまから寄せられた提言・提案などへの回答要旨」		1_健康・福祉・医療
No.	件名・内容	回答
6	<p>こども医療費支給制度について</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 16歳～18歳の通院も支給するよう制度を変更する場合、どのような流れになるのでしょうか。</p> <p>(2) 16歳～18歳の通院も支給するよう制度を変更する場合、どのプロセスに課題が生じそうでしょうか。</p> <p>【受付No.】 5-2019</p> <p>【受付日】 令和5年11月12日</p>	<p>(1) 初めに、担当課である子ども支援課が、所要額を算出した上で、制度改正のためのスケジュール等の素案を作成します。</p> <p>次に、子ども未来部において内容を精査し、財政部局等の関係部署との調整、副市長・市長の決裁を経て、市の方針が決定されます。</p> <p>その後、市議会に条例改正案と予算案の議案を提出し可決されると、施行日から新しい制度が適用されることとなります。</p> <p>(2) 通院分のこども医療費の対象年齢を拡大するには、財源の確保が課題となっておりますが、本年9月、知事がこども医療費に対する県の補助対象を令和6年度から拡充すると示唆し、一定程度の補助金が増額される見込みとなりました。</p> <p>これを受け、市では、令和6年4月診療分から、高校生世代の通院医療費についてもこども医療費の支給対象とするよう、条例の改正案と補正予算案を市議会（12月定例会）に提出する予定です。</p> <p>(担当) 子ども支援課（電話）783-4962</p>